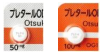
手術前に服用中止を考慮すべき医薬品
（リスク分類：出血・乳酸ケトアシドーシス・SGLT-2阻害薬によるケトアシドーシス）

代表的な薬剤名称	一般名称	リスク分類	製品写真	中止期間（目安）
①ワーファリン錠0.5mg、1mg、5mg	ワルファリンカリウム	出血		3～5日
②ヘパリンカルシウム皮下注 5千単位（持続点滴を除く）	ヘパリンカルシウム	出血		12時間
③プラザキサカプセル75mg、110mg	ダビガトランエテキシラート	出血		1～4日 （Ccr50以上：1～2日　Ccr30～49：2～4日） （硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔では2日以上）
④イグザレルト錠10mg、15mg	リバーロキサバン	出血		1～2日
⑤リクシアナ錠15mg、30mg、60mg	エドキサバン	出血		1～2日
⑥エリキュース錠2.5mg、5mg	アピキサバン	出血		1～2日
⑦バイアスピリン錠100mg	アスピリン	出血		7日
⑧パナルジン錠100mg	チクロピジン塩酸塩	出血		7～14日 （硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔では10～14日）
⑨プラビックス錠25mg、75mg	クロピドグレル	出血		7～14日 （硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔では10～14日）
⑩エフィエント錠2.5mg、3.75mg 5mg、20mg	プラスグレル塩酸塩	出血		7～14日 （硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔では10～14日）
⑪プリリンタ錠60mg、90mg	チカグレロル	出血		5日
⑫プレタールOD錠50mg、100mg	シロスタゾール	出血		1～3日 （硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔では2日）
⑬エパデールS300、600、900 エパデールカプセル300mg	イコサペント酸エチル	出血		7日
⑭ロトリガ粒状カプセル	オメガ3脂肪酸	出血		7日
⑮ドルナー錠20μg	ベラプロストナトリウム	出血		1日
⑯アンプラーグ錠50mg、100mg	サルポグレラート塩酸塩	出血		1日
⑰セロクラール錠10mg、20mg	イフェンプロジル酒石酸塩	出血		2日
⑱サアミオン錠5mg	ニセルゴリン	出血		1日
⑲ケタスカプセル10mg	イブジラスト	出血		3日

代表的な薬剤名称	一般名称	リスク分類	製品写真	中止期間（目安）
⑳トラピジル錠50mg、100mg	トラピジル	出血		2日
㉑ペルサンチン錠25mg、100mg	ジピリダモール	出血		2日
㉒コメリアンコーワ錠50、100	ジラゼプ塩酸塩水和物	出血		2日
㉓プロレナール錠5μg	リマプロストアルファデクス	出血		1日
㉗メトグルコ錠250mg、500mg	メトホルミン塩酸塩	乳酸アシドーシス		2日
㉘ジベトス錠50mg	ブホルミン塩酸塩	乳酸アシドーシス		2日
㉙スーグラ錠25mg、50mg	イプラグリフロジン	ケトアシドーシス		3日
㉚フォシーガ錠5mg、10mg	ダパグリフロジン	ケトアシドーシス		3日
㉛ルセフィ錠2.5mg、5mg	ルセオグリフロジン	ケトアシドーシス		3日
㉜デベルザ錠20mg	トホグリフロジン	ケトアシドーシス		3日
㉝カナグル錠100mg	カナグリフロジン	ケトアシドーシス		3日
㉞ジャディアンス10mg、25mg	エンパグリフロジン	ケトアシドーシス		3日

●サプリメントの取り扱いについて
エフェドラ（マオウ）、魚油、セイヨウオトギリソウ（セントジョーンズワート）が含まれるものは必ず中止。
その他のものは基本的に全て中止とするが、難しい場合は主治医判断とする。
手術の決まった時点から中止とし、中止期間は問わないものとする。
●再開時期記載のない薬剤は主治医の判断による
●中止薬一覧以外の薬剤（免疫抑制薬や糖尿病治療薬など）は主治医の判断とする。
※SGLT-2阻害薬は糖尿病薬であるが、日本糖尿病学会より提言があり休薬期間が3日であるため一覧へ掲載とした。

・参考文献
添付文書（製薬会社からの回答含む）
ワーファリン適正使用情報第3版
心房細動治療（薬物）ガイドライン（2013改訂版）
循環器疾患における抗凝固・抗血小板療法に関するガイドライン（2009年改訂版）
抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン（2012年版）
周術期管理チームテキスト第4版、手術医療の実践ガイドライン（2013年改訂版）
産婦人科診療ガイドライン（2017年版）
日本糖尿病学会「SGLT2阻害薬の適正使用に関する Recommendation」（2020年）

・監修
小谷医師（内科）、小菅医師（内科）、江藤医師（内科）、武藤医師（整形外科）、平出医師（整形外科）
藤川医師（婦人科）、甫母医師（麻酔科）、小林医師（麻酔科）、大竹医師（麻酔科）

牧田総合病院　医療安全管理委員会　薬剤部　2024年7月改訂

手術前に服用中止を考慮すべき医薬品
（リスク分類：血栓症） ～女性ホルモン関連薬～

代表的な薬剤名称	一般名称・分類	リスク分類	製品写真	中止期間（目安）	休薬について	備考
㉔ノルバデックス錠10mg、20mg	タモキシフェン	血栓症		手術前3週間、手術後3週間	添付文書：記載なし メーカー回答：休薬の必要なし 周術期管理チームテキスト第4版：術前3週間、術後3週間	麻酔科医師意見も参考に期間設定
㉕フェアストン錠40mg、60mg	トレミフェン	血栓症		手術前3週間、手術後3週間	添付文書：記載なし メーカー回答：中止基準は設けていない 周術期管理チームテキスト第4版：術前3週間、術後3週間	「抗エストロゲン剤」に分類され、タモキシフェンと同様に中止を考慮すべき医薬品と規定（2020.5追加） （産婦人科　藤川医師、麻酔科　大竹医師確認）
㉖フェソロデックス筋注250mg	フルベストラント	血栓症		手術前3週間、手術後3週間	添付文書：記載なし メーカー回答：中止基準は設けていない 周術期管理チームテキスト第4版：術前3週間、術後3週間	「抗エストロゲン剤」に分類され、タモキシフェンと同様に中止を考慮すべき医薬品と規定（2020.5追加） （産婦人科　藤川医師、麻酔科　大竹医師確認）
㉗【黄体ホルモン製剤（高用量）】	その他の黄体ホルモン高用量は薬剤対応一覧表（薬効順）参照	血栓症		手術前4週間、手術後2週間 産後4週間	添付文書：手術後1週間以内 メーカー回答：手術前4週以内、術後1週以内 周術期管理チームテキスト第4版：術後1週間	産婦人科　藤川医師の意見も参考に期間設定
㉘【黄体ホルモン製剤】	その他の黄体ホルモンは薬剤対応一覧表（薬効順）参照	血栓症		手術前4週間、手術後2週間 産後4週間	添付文書：記載なし メーカー回答：中止基準は設けていない 周術期管理チームテキスト第4版：術後1週間	産婦人科　藤川医師の意見も参考に期間設定
㉙【卵胞ホルモン】	その他の卵胞ホルモンは薬剤対応一覧表（薬効順）参照	血栓症		手術前4週間、手術後2週間 産後4週間	添付文書：プレマリンのみ手術前4週以内　その他卵胞ホルモン記載無し メーカー回答：中止基準は設けていない 周術期管理チームテキスト第4版：4週間	産婦人科　藤川医師の意見も参考に期間設定
㉚プラノバール錠	ノルゲストレル・ エチニルエストラジオール	血栓症		手術前4週間、手術後2週間 産後4週間	添付文書：記載なし メーカー回答：基本的には無し 周術期管理チームテキスト第4版：術前4週間、術後2週間	産婦人科　藤川医師の意見も参考に期間設定
㉛ヤーズフレックス配合錠	ドロスピレノン・ エチニルエストラジオール	血栓症		手術前4週間、手術後2週間 産後4週間	添付文書：手術前4週以内、術後2週以内、産後4週以内 メーカー回答：中止基準は設けていない 周術期管理チームテキスト第4版：記載なし	産婦人科　藤川医師の意見も参考に期間設定
㉜ルナベル配合錠	ノルエチステロン・ エチニルエストラジオール	血栓症		手術前4週間、手術後2週間 産後4週間	添付文書：手術前4週以内、術後2週以内、産後4週以内 メーカー回答：中止基準は設けていない 周術期管理チームテキスト第4版：術前4週間、術後2週間	産婦人科　藤川医師の意見も参考に期間設定
㉝マーベロン21、マーベロン28	デソゲストレル・ エチニルエストラジオール	血栓症		手術前4週間、手術後2週間 産後4週間	添付文書：手術前4週以内、術後2週以内、産後4週以内 メーカー回答：中止基準は設けていない 周術期管理チームテキスト第4版：術前4週間、術後2週間	産婦人科　藤川医師の意見も参考に期間設定
㉞メノエイドコンビパッチ	エストラジオール・ ノルエチステロン	血栓症		手術前4週間、手術後2週間 産後4週間	添付文書：記載なし メーカー回答：施設基準による 周術期管理チームテキスト第4版：記載なし	産婦人科　藤川医師の意見も参考に期間設定 （合剤なので他の経口避妊薬にならって問題ないが、肝初回通過がないのでリスクは低いと思われるとのこと）
㉟ビビアント錠20mg	バゼドキシフェン	血栓症		3日	添付文書：記載なし メーカー回答：4日（半減期） 周術期管理チームテキスト第4版：3日	整形外科医師の意見も参考に期間設定
㊱エビスタ錠60mg	ラロキシフェン塩酸塩	血栓症		3日	添付文書：3日 メーカー回答：3日 周術期管理チームテキスト第4版：3日	整形外科医師の意見も参考に期間設定

●サプリメントの取り扱いについて
エフェドラ（マオウ）、魚油、セイヨウオトギリソウ（セントジョーンズワート）が含まれるものは必ず中止。
その他のものは基本的に全て中止とするが、難しい場合は主治医判断とする。
手術の決まった時点から中止とし、中止期間は問わないものとする。
●再開時期記載のない薬剤は主治医の判断による
●中止薬一覧以外の薬剤（免疫抑制薬や糖尿病治療薬など）は主治医の判断とする。
※SGLT-2阻害薬は糖尿病薬であるが、日本糖尿病学会より提言があり休薬期間が3日であるため一覧へ掲載した。

・参考文献
添付文書（製薬会社からの回答含む）、ワーファリン適正使用情報第3版
心房細動治療（薬物）ガイドライン（2013改訂版）、循環器疾患における抗凝固・抗血小板療法に関するガイドライン（2009年改訂版）
抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン（2012年版）、周術期管理チームテキスト第4版、
手術医療の実践ガイドライン（2013年改訂版）、産婦人科診療ガイドライン（2017年版）
糖尿病学会「SGLT2阻害薬の適正使用に関する Recommendation」（2020年）

・監修
小谷医師（内科）、小菅医師（内科）、江藤医師（内科）、武藤医師（整形外科）、平出医師（整形外科）
藤川医師（婦人科）、南母医師（麻酔科）、小林医師（麻酔科）、大竹医師（麻酔科）

消化器内視鏡前に服用中止を考慮すべき医薬品(1/2)

代表的な薬剤名称	一般名称	リスク分類	製品写真	中止期間(目安)
①ワーファリン錠0.5mg、1mg、5mg	ワルファリンカリウム	出血		休薬不要(※①～③) 3～5日(※④)→ヘパリン置換
②ヘパリンカルシウム皮下注 5千単位 (持続点滴を除く)	ヘパリンカルシウム	出血		休薬不要(※①～③) 12時間(※④)
③プラザキサカプセル75mg、110mg	ダビガトランエテキシラート	出血		休薬不要(※①～③) 1～2日(※④)→ヘパリン置換
④イグザレルト錠10mg、15mg	リバーロキサバン	出血		休薬不要(※①～③) 1～2日(※④)→ヘパリン置換
⑤リクシアナ錠15mg、30mg、60mg	エドキサバン	出血		休薬不要(※①～③) 1～2日(※④)→ヘパリン置換
⑥エリキュース錠2.5mg、5mg	アピキサバン	出血		休薬不要(※①～③) 1～2日(※④)→ヘパリン置換
⑦バイアスピリン錠100mg	アスピリン	出血		休薬不要(※①～③) 3～5日(※④) 他剤併用時(血栓症高リスク)は アスピリンのみ休薬不要
⑧パナルジン錠100mg	チクロピジン塩酸塩	出血		休薬不要(※①～③) 5～7日(※④)
⑨プラビックス錠25mg、75mg	クロピドグレル	出血		休薬不要(※①～③) 5～7日(※④)
⑩エフィエント錠2.5mg、3.75mg 5mg、20mg	プラスグレル塩酸塩	出血		休薬不要(※①～③) 5～7日(※④)
⑪ブリリンタ錠60mg、90mg	チカグレロル	出血		休薬不要(※①～③) 5日(※④)
⑫プレタールOD錠50mg、100mg	シロスタゾール	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④) 他剤併用時(血栓症高リスク)は シロスタゾールのみ休薬不要
⑬エパデールS300、600、900 エパデールカプセル300mg	イコサペント酸エチル	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑭ロトリガ粒状カプセル	オメガ3脂肪酸	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑮ドルナー錠20μg	ベラプロストナトリウム	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑯アンプラーグ錠50mg、100mg	サルポグレラート塩酸塩	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)

消化器内視鏡前に服用中止を考慮すべき医薬品(2/2)

代表的な薬剤名称	一般名称	リスク分類	製品写真	中止期間(目安)
⑰セロクラール錠10mg、20mg	イフェンプロジル酒石酸塩	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑱サアミオン錠5mg	ニセルゴリン	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑲ケタスカプセル10mg	イブジラスト	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑳トラピジル錠50mg、100mg	トラピジル	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
㉑ペルサンチン錠25mg、100mg	ジピリダモール	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
㉒コメリアンコーワ錠50、100	ジラゼプ塩酸塩水和物	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
㉓プロレナール錠5μg	リマプロストアルファデクス	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)

※

出血危険度による消化器内視鏡の分類(①→④ほど危険度高い)

①通常消化器内視鏡・・・上部消化管内視鏡(経鼻内視鏡を含む)、下部消化管内視鏡、超音波内視鏡、
カプセル内視鏡、内視鏡的逆行性膵胆管造影

②内視鏡的粘膜生検(超音波内視鏡下穿刺吸引術を除く)

③出血低危険度の消化器内視鏡・・・バルーン内視鏡、マーキング(クリップ、高周波、点墨など)、
消化管・膵管・胆管ステント留置法(切開手技を伴わない)、
内視鏡的乳頭バルーン拡張術

④出血高危険度の消化器内視鏡・・・ポリペクトミー、内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術、
内視鏡的乳頭括約筋切開術、内視鏡的十二指腸乳頭切除術、
超音波内視鏡下穿刺吸引術、経皮内視鏡的胃瘻造設術
(胃瘻交換は中止対象にはならない)、
内視鏡的食道・胃静脈瘤治療、内視鏡的消化管拡張術、
内視鏡的粘膜焼灼術、その他

●再開時期記載のない薬剤は主治医の判断による

●中止薬一覧以外の薬剤(免疫抑制薬や糖尿病治療薬など)は主治医の判断とする

・参考文献
抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン(2012年版)
心房細動治療(薬物)ガイドライン(2013改訂版)
産婦人科診療ガイドライン(2017年版)
・監修
小谷医師(内科)、山崎武志医師(内科)、徳弘医師(内科)、山崎麻衣子医師(内科)、大竹医師(麻酔科)

薬剤対応一覧表（五十音順）

薬剤名称	一般名称（配合剤含む）	薬剤番号（手術前）	薬剤番号（内視鏡前）
アスピリン腸溶錠	アスピリン	⑦	⑦
アスファネート配合錠A	アスピリン	⑦	⑦
アンジュ	低容量ピル	㉝	ー
アンプラーグ	サルポグレラート塩酸塩	⑯	⑯
イグザレルト	リバーロキサバン	④	④
イコサペント酸エチル	イコサペント酸エチル	⑬	⑬
イニシンク配合錠	メトホルミン塩酸塩	㊲	ー
イフェンプロジル	イフェンプロジル酒石酸塩	⑰	⑰
イブジラスト	イブジラスト	⑲	⑲
ウェールナラ	ホルモン配合剤	㉜	ー
ウトロゲスタン	プロゲステロン	㉘	ー
エクメット配合錠HD	メトホルミン塩酸塩	㊲	ー
エクメット配合錠LD	メトホルミン塩酸塩	㊲	ー
エストラーナ	エストラジオール	㉙	ー
エストラサイト	エストラムスチン	㉙	ー
エストラジオール	エストラジオール	㉙	ー
エストリオール	エストリオール	㉙	ー
エストリール	エストリオール	㉙	ー
エパデール	イコサペント酸エチル	⑬	⑬
エパデールEM	イコサペント酸エチル	⑬	⑬
エビスタ	ラロキシフェン塩酸塩	㊱	ー
エフィエント	プラスグレル塩酸塩	⑩	⑩
エフメノ	プロゲステロン	㉘	ー
エリキュース	アピキサバン	⑥	⑥
オパルモン	リマプロストアルファデクス	㉓	㉓
オメガ-3脂肪酸エチル	オメガ-3脂肪酸エチル	⑭	⑭
カナグル	カナグリフロジン	㊹	ー
カナリア配合錠	カナグリフロジン	㊹	ー
キャブピリン配合錠	アスピリン	⑦	⑦
グリコラン	メトホルミン塩酸塩	㊲	ー
クロピドグレル	クロピドグレル	⑨	⑨
ケアロードLA	ベラプロストナトリウム	⑮	⑮
ケタス	イブジラスト	⑲	⑲
コメリアン	ジラゼプ塩酸塩水和物	㉒	㉒
コンプラビン配合錠	クロピドグレル/アスピリン	⑨/⑦	⑨/⑦
サアミオン	ニセルゴリン	⑱	⑱
サルポグレラート	サルポグレラート塩酸塩	⑯	⑯
ジェミーナ配合錠	ホルモン配合剤	㉜	ー
ジピリダモール	ジピリダモール	㉑	㉑
ジベトス	ブホルミン塩酸塩	㊳	ー
ジャディアンス	エンパグリフロジン	㊹	ー
ジュリナ	エストラジオール	㉙	ー
ジラゼプ	ジラゼプ塩酸塩水和物	㉒	㉒
シロスタゾール	シロスタゾール	⑫	⑫
シンフェーズT	低容量ピル	㉝	ー
スーグラ	イプラグリフロジン	㊴	ー
スージャヌ配合錠	イプラグリフロジン	㊴	ー
セロクラール	イフェンプロジル酒石酸塩	⑰	⑰
タケルダ配合錠	アスピリン	⑦	⑦
タモキシフェン	タモキシフェン	㉔	ー
チクロピジン	チクロピジン塩酸塩	⑧	⑧
ディビゲル	エストラジオール	㉙	ー
デベルザ	トホグリフロジン	㊷	ー
デュファストン	ジドロゲステロン	㉘	ー
トラディアンス配合錠	エンパグリフロジン	㊹	ー
トラピジル	トラピジル	⑳	⑳
トリキュラー	低容量ピル	㉝	ー
ドルナー	ベラプロストナトリウム	⑮	⑮
トレミフェン	トレミフェン	㉕	㉕
ドロエチ配合錠	ホルモン配合剤	㉛	ー
ニセルゴリン	ニセルゴリン	⑱	⑱
ニトギス配合錠A	アスピリン	⑦	⑦
ノアルテン	ノルエチステロン	㉘	ー
ノルバデックス	タモキシフェン	㉔	ー

薬剤名称	一般名称（配合剤含む）	薬剤番号（手術前）	薬剤番号（内視鏡前）
バイアスピリン	アスピリン	⑦	⑦
バスタレルF	トリメタジジン塩酸塩	⑳	⑳
バゼドキシフェン	バゼドキシフェン	㉟	ー
バッサミン配合錠A	アスピリン	⑦	⑦
パナルジン	チクロピジン塩酸塩	⑧	⑧
バファリン配合錠A	アスピリン	⑦	⑦
ヒスロン	メドロキシプロゲステロン	㉘	ー
ヒスロンH	メドロキシプロゲステロン	㉗	ー
ビビアント	バゼドキシフェン	㉟	ー
ファボワール錠	低容量ピル	㉝	ー
ファモター配合錠A	アスピリン	⑦	⑦
フェアストン（40、60）	トレミフェン	㉕	㉕
フェソロデックス筋注	フルベストラント	㉖	㉖
フォシーガ	ダパグリフロジン	㊵	ー
ブホルミン塩酸塩	ブホルミン塩酸塩	㊳	ー
プラザキサ	ダビガトランエテキシラート	③	③
プラノバール	ホルモン配合剤	㉚	ー
プラビックス	クロピドグレル	⑨	⑨
フリウェル配合錠LD	ホルモン配合剤	㉜	ー
フリウェル配合錠ULD	ホルモン配合剤	㉜	ー
プリリンタ	チカグレロル	⑪	⑪
プレタール	シロスタゾール	⑫	⑫
プレマリン	結合型エストロゲン	㉙	ー
プロサイリン	ベラプロストナトリウム	⑮	⑮
プロセキソール	エチニルエストラジオール	㉙	ー
プロベラ	メドロキシプロゲステロン	㉘	ー
ヘパリンカルシウム皮下注	ヘパリンカルシウム	②	②
ベラサスLA	ベラプロストナトリウム	⑮	⑮
ベラプロストNa	ベラプロストナトリウム	⑮	⑮
ペルサンチン	ジピリダモール	㉑	㉑
ホーリン	エストラジオール	㉙	ー
マーベロン	低容量ピル	㉝	ー
ミレーナ	レボノルゲストレル	㉘	ー
メタクト配合錠HD	メトホルミン塩酸塩	㊲	ー
メタクト配合錠LD	メトホルミン塩酸塩	㊲	ー
メトアナ配合錠HD	メトホルミン塩酸塩	㊲	ー
メトアナ配合錠LD	メトホルミン塩酸塩	㊲	ー
メトグルコ	メトホルミン塩酸塩	㊲	ー
メトホルミン塩酸塩	メトホルミン塩酸塩	㊲	ー
メドロキシプロゲステロン（2.5、5）	メドロキシプロゲステロン	㉘	
メドロキシプロゲステロン（200）	メドロキシプロゲステロン	㉗	
メノエイド	ホルモン配合剤	㉞	ー
ヤーズ	ホルモン配合剤	㉛	ー
ヤーズフレックス	ホルモン配合剤	㉛	ー
ラベルフィーユ	低容量ピル	㉝	ー
ラロキシフェン塩酸塩	ラロキシフェン塩酸塩	㊱	ー
リクシアナ	エドキサバン	⑤	⑤
リマプロストアルファデクス	リマプロストアルファデクス	㉓	㉓
ル・エストロジェル	エストラジオール	㉙	ー
ルセフィ	ルセオグリフロジン	㊶	ー
ルティナス膣錠	プロゲステロン	㉘	ー
ルテウム膣用坐剤	プロゲステロン	㉘	ー
ルトラール	クロルマジノン	㉘	ー
ルナベル配合錠LD	ホルモン配合剤	㉜	ー
ルナベル配合錠ULD	ホルモン配合剤	㉜	ー
ロコルナール	トラピジル	⑳	⑳
ロトリガ	オメガ-3脂肪酸エチル	⑭	⑭
ロレアス配合錠	クロピドグレル/アスピリン	⑨/⑦	⑨/⑦
ワーファリン	ワルファリンカリウム	①	①
ワルファリンK	ワルファリンカリウム	①	①
ワンクリノン膣用ゲル	プロゲステロン	㉘	ー

牧田総合病院　医療安全管理委員会　薬剤部　2022年6月改訂

薬剤対応一覧表（薬効順）

医薬品の一般名		出血に注意が必要な薬剤一覧（商品名）
抗凝集剤血液	ワルファリンカリウム	ワーファリン、ワルファリンK
	ヘパリン	ヘパリンカルシウム皮下注
	ダビガトランエテキシラート	プラザキサ
	リバーロキサバン	イグザレルト
	エドキサバン	リクシアナ
	アピキサバン	エリキュース
血小板凝集抑制剤	アスピリン	アスピリン腸溶錠、アスファネート配合錠A、コンプラビン配合錠、タケルダ配合錠、ニトギス配合錠A、バイアスピリン、バッサミン配合錠A、バファリン配合錠A、ファモター配合錠A、ロレアス配合錠、キャプピリン配合錠
	チクロピジン塩酸塩	パナルジン、チクロピジン
	クロピドグレル	コンプラビン配合錠、クロピドグレル、プラビックス、ロレアス配合錠
	プラスグレル塩酸塩	エフィエント
	チカグレロル	ブリリンタ
	シロスタゾール	シロスタゾール、プレタール
	イコサペント酸エチル	イコサペント酸エチル、エパデール、エパデールEMカプセル
	オメガ-3脂肪酸エチル	ロトリガ、オメガ-3脂肪酸エチル
	ベラプロストナトリウム	ケアロードLA、ベラサスLA、ドルナー、プロサイリン、ベラプロストNa
	サルポグレラート塩酸塩	アンプラーグ、サルポグレラート
脳血管障害改善剤	イフェンプロジル酒石酸塩	イフェンプロジル、セロクラール
	ニセルゴリン	サアミオン、ニセルゴリン
	イブジラスト	ケタス、イブジラスト
冠血管拡張剤	トラピジル	トラピジル、ロコルナール
	ジピリダモール	ジピリダモール、ペルサンチン
	ジラゼプ塩酸塩水和物	コメリアン、ジラゼプ
	トリメタジジン塩酸塩	バスタレルF
張拡管	リマプロストアルファデクス	オパルモン、リマプロストアルファデクス

医薬品の一般名		血栓症に注意が必要な薬剤一覧（商品名）
抗癌剤	タモキシフェン	タモキシフェン、ノルバデックス
	トレミフェン	トレミフェン、フェアストン（40、60）
	フルベストラント	フェソロデックス
黄体ホルモン製剤	プロゲステロン	エフメノ、ルティナス、ウトロゲスタン、ワンクリノン、ルテウム
	ジドロゲステロン	デュファストン
	メドロキシプロゲステロン	ヒスロン、ヒスロンH、プロベラ、メドロキシプロゲステロン（2.5、5）、メドロキシプロゲステロン（200）
	クロルマジノン	ルトラール
	ノルエチステロン	ノアルテン
	レボノルゲストレル	ミレーナ
卵胞ホルモン	エストラムスチン	エストラサイト
	エチニルエストラジオール	プロセキソール
	エストラジオール	エストラジオール、エストラーナ、ジュリナ、ル・エストロジェル、ディビゲル
	エストリオール	エストリオール、エストリール、ホーリン
	結合型エストロゲン	プレマリン
卵胞ホルモン製剤・配合剤		ウェールナラ、ドロエチ配合錠、メノエイド、プラノバール、ヤーズ、ヤーズフレックス、ルナベル配合錠LD、ルナベル配合錠ULD、フリウェル配合錠LD、フリウェル配合錠ULD、ジェミーナ
低容量ピル		アンジュ、シンフェーズT、トリキュラー、ファボワール、マーベロン、ラベルフィーユ
SERM	バゼドキシフェン	ビビアント、バゼドキシフェン
	ラロキシフェン塩酸塩	エビスタ、ラロキシフェン

医薬品の一般名		乳酸アシドーシスに注意が必要な薬剤一覧（商品名）
ビグアナイド製剤	メトホルミン塩酸塩	イニシンク配合錠、エクメット配合錠LD、エクメット配合錠HD、グリコラン、メタクト配合錠LD、メタクト配合錠HD、メトアナ配合錠LD、メトアナ配合錠HD、メトグルコ、メトホルミン塩酸塩
	ブホルミン塩酸塩	ジベトス、ブホルミン塩酸塩

医薬品の一般名		SGLT-2阻害薬（商品名）
SGLT2阻害薬	イプラグリフロジン	スーグラ、スージャヌ配合錠
	ダパグリフロジン	フォシーガ
	ルセオグリフロジン	ルセフィ
	トホグリフロジン	デベルザ
	カナグリフロジン	カナグル、カナリア配合錠
	エンパグリフロジン	ジャディアンス、トラディアンス配合錠

青字：院外採用薬　　赤字：院内採用薬

※循環動態に影響を及ぼすとされるβ遮断薬、αβ遮断薬、ACE阻害薬、ARB、利尿薬等は一覧には含んでいません

※ヨード造影剤使用の際はビグアナイド製剤を処置前後48時間中止（放射線部管理のヨード造影剤問診票参照）

※採用状況は2024年6月現在のものです